

2019年度1次隊  
前田 隆志 (たかゆき)  
派遣国：ナミビア 職種：音響

Q:ご出身はどちらですか？

A:静岡市出身です  
旧三番町小→末広中→静岡西高に通っていました



Q:どうして協力隊に参加してみようと思ったのですか？

A:インターネットでたまたま募集と要請内容を見つけて、これなら得意！と思って参加しました。  
それまでボランティアや海外にさえ興味はありませんでした(笑)



Q:協力隊に参加される前はどんなことをしていましたか？

A:音楽ライブなどのイベントで音響機材を操作したり、公立の劇場でテクニカルサポートをしていました。



Q:任地での〇〇エピソードを教えてください♪

A:任地では白髪の男性がモテます！  
お金持ちや賢いといったイメージがあるようで白髪の私はモテました (笑)



Q:任国の簡単な紹介をお願いします♪

A:テレビで「絵画のような絶景」としてオレンジ色の砂漠に枯れ木が立っている映像を見たことはありませんか？あの砂漠があるナミビア共和国で活動していました。

人口密度が低く荒野や砂漠が広がる国ですがドイツの植民地だったこともあり都市部はヨーロッパのような街並みです。



Q:任地のおススメ料理を教えてください！

A:ビールとソーセージが美味しいです！（ドイツと全く同じ製法で作られてます）

伝統的な肉料理のマトンガラをパップと一緒に食べるのも好きでした。

海沿いの町では新鮮な魚や牡蠣も手に入ります。

パップ・・・トウモロコシの粉をお湯で練った任地の主食。日本のそばがきに近いです。



Q:任地ではどのような活動をされていたのですか？

A:ナミビア国立演劇場で音響技術や舞台装置の操作方法などを指導していました。



Q:活動の中で自分らしさが出せたなと感じる場面はありましたか？

A:要請の音響技術だけでなく劇場運営や舞台装置の操作などほかの音響さんではできないことも教えることができたことです。



Q:音響隊員ならではの大変さややりがいがあったら教えてください！

A:音は目に見えるものではないので細かなニュアンスを説明するのに苦労しました。また日本とナミビアでは流行る音楽が違うのでナミビア人が好きな音を作ることに集中しました。

Q:協力隊に参加して、  
自分の中でどのような  
変化がありましたか？

A:いま世界で何が起  
こっているのか日本は  
世界から見てどういう  
国なのかということ  
を考えるようになりました。



Q:将来 JICA 海外協力隊への参加を考えている方に（学生さんに）、  
メッセージをお願いします！

A:日本では絶対体験できない世界がここにはあります。正直楽しいこと  
ばかりではありませんがきっと強くなって帰ってこれます。何かを  
変える力、踏み出す力をつけてその後の人生を豊かにするものだと思います。  
協力隊のことを頭のすみに置いておいてチャンスが来たら飛び込んでみ  
てください。

